



ほけんだより 11月号

令和2年11月
白鳥保育園
看護師

11月になりインフルエンザやRSウイルス感染症、胃腸炎など、感染症が流行し始める季節がやってきました。冬に向けて心も体も元気に過ごせるように、感染症の予防はしっかりと行いましょう。

★☆10月の感染症☆★

- ・ヘルパンギーナ……4名
- ・おたふくかぜ ………1名
- ・RSウイルス感染症…2名

毎朝子どもの様子を観察し、少しでも変化があれば、必ず教えてくださいね。
咳、鼻水、湿疹、機嫌のほかにも、子どもの言葉「だるい」「痛い」など、、、

インフルエンザとかぜは何が違うの？

かぜはのどの痛み、鼻水、くしゃみ、咳などの症状が中心で、全身症状はあまり見られません。インフルエンザは、突然の高熱、倦怠感、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が突然現れます。また、かぜと同様にのどの痛み、鼻水、咳などの症状も見られます。突然の高熱がでたらインフルエンザを疑い、病院で診てもらいましょう。

登園基準

発症後5日を経過し、解熱後2日（幼児は3日）を経過していること。

予防接種について



発症をおさえ、集団生活の中で感染拡大防止と、肺炎や脳炎などへ重症化するのを防ぐ効果があります。接種を受けてから抗体ができるまでに約2週間かかるので、12月頃にまでには接種を済ませておきましょう。

2歳未満で要注意！！

RSウイルス感染症

秋から冬にかけて多くなり、2歳までにほぼ100%の子が感染すると言われています。大人や年長児が感染しても風邪症状程度で通常は1週間ほどで回復しますが、低年齢の子ほど重症化しやすいため、注意したい呼吸器の感染症です。

感染経路→飛沫感染、接触感染

症状

- 鼻水や咳
- 38～39℃の高熱
- ゼイゼイという呼吸音
- 悪化すると呼吸困難になる



対処

- ★水分摂取は少しずつ、ゆっくりと
- ★鼻水をとり、呼吸しやすくする
- ★体を起こすか、縦抱きにして背中をさすると呼吸が楽に
- ★夜中に悪化しやすく、お腹や胸がぺこぺこへこんで呼吸している、顔色が悪い場合、呼吸困難の兆候です。朝を待たずにすぐ受診を！

登園基準

咳などの呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと（保護者記入の登園届が必要です）